

名家連ニュース

平成 23 年 2 月 20 日 (日)
発行：名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL (052) 411-2890 FAX (052) 411-7283
No. 128 号

2.19愛知障害フォーラムに700名参加 第2次意見の反映を求め「決議」採択！

講師の藤井克徳氏は政府案の問題点を詳しく説明し、このままでは国際基準さえ満たさない改正になっていく現状を打開するために、2月28日の推進会議に向けて愛知から反転攻勢の声を挙げ事態打開に力を結集する重要性を訴えました。参加者との意見交換を踏まえ愛知障害フォーラム決議文が採択されました。政府案に影響を与えるには20日～22日までに障害者団体の声を集中する必要があり、決議文と参加者の感想文も添えて本部長（総理大臣）、民主党プロジェクトチーム座長、厚生労働委員、愛知県下の全国会議員に私たちの声を届けることを確認しました。



また、各障害者団体もそれぞれの立場から各議員に対してメールを集中するなど愛知フォーラムが結束して「第2次意見の後退を許さない」声と運動を展開することを意思統一しました。

精神については週明け早々に愛家連、名家連連名で「抗議文」を提出する予定です。

— 主催 愛知県精神保健福祉士協会 共催 愛家連 名家連 —

あした天気にな〜れ パートXIV



精神保健福祉士（PSW）が国家資格となり PSW の皆さんは医療や福祉の分野で当事者、家族と共に 14 年の歴史を刻んできました。今回の企画は、14 年の足跡をたどり、明日に繋ぐために企画されたものです。会場である鯉城ホールは 780 席という大きな会場です。しかし、家族会は「2.19 愛知フォーラム」などもあり「あした天気にな〜れ」の参加確認が大きく遅れています。



家族の立場から原和美さんがシンポジストとして発表します

当事者の都築氏、田中氏も登場します。当事者の今後を考えた時、医療・福祉の支援者（PSW）との関係強化は必要不可欠であり、2月26日に向けて全力で声掛けを進めていきます。

実行委員会では家族会の参加目標を愛家連 20 名～30 名、名家連 80 名、当事者も含め全体で 150 名と設定しました。名家連の場合、単純計算では 17 家族会で 5 名参加となりますが、それ以上に積極的な声掛けをお願いします。

各家族会の参加人数を名家連事務所(会長宅)までお知らせ下さい